

提出された議案を
くわしく審査!

常任委員会報告

空き地の管理責任が明確に

もっと知りたい
ちっごの課題



建設経済委員会

委員会では一般会計補正予算1件、水道事業剰余金の処分、市道路線の廃止及び認定について審査し、全員賛成にて原案可決した。

古島地区の県営水路追加工事

一般会計補正予算の筑後川下流域土地改良事業に要する経費は、クリーク防災機能保全対策事業で、クリークの法面対策事業として、福岡県が取り組んでいる事業に対する負担金を計上するもの。

平成30年度から31年度にかけて、島田、井田、井上、古島の水路の整備を実施する。総事業費は

約4億2千万円。負担割合は国が55%、県が40%、市が5%。

前津行政区 コミュニティ自動車 運行へ

債務負担行為は前津行政区のコミュニティ自動車運営のための自動車借上げ費用(31~35年度)の384万円を計上するもの。

車両の安全対策は、バックモニター、ドライブレコーダー、補助ステップ等、ブレーキアシストは予定していない。

水道事業の 未整備地域の 条件緩和を検討中

29年度水道事業剰余金の処分については、水道事業の実施により生じた利益剰余金約2億6千万円のうち減債積立金に3千万円、建設改良積立金に2億円を充て、残りを翌年度繰越利益剰余金とするもの。



コミュニティ自動車
(松原校区)

厚生委員会

委員会では、条例改正2件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件について審査し、全員賛成にて原案可決した。

老朽化した 消防庁舎は 消防庁舎は

一般会計補正予算の一般消防事務に要する経費は、消防署車庫内の梯子車駐車スペース上部の天井が一部剥落する事故が発生し、天井を目視すると部分的に老朽化が目立つところがあったため補修するもの。

消防署は、建築後何年経っているのか。

昭和41年3月に建てられているので52年になる。

耐震診断時には、指摘がなかったのか。

補修工事程度で問題の解決にはならないと思う。将来的なことを含め見直したほうが良いと思うが、耐震診断時には指摘

総務文教委員会

委員会では、条例改正6件、一般会計補正予算1件について審査し、全員賛成にて原案可決した。

救急出動増加に 職員増で対応

筑後市職員の定数に関する条例改正については、毎年増加する救急出動要請に対応するため平成31年度から消防職員を2人増員し49人とするもの。

今からの募集となれば、採用試験の日程が他市より遅れる。良い人材の確保のためには、遅くとも6月議会までに提案すべきではなかったのか。

きたが、昨年度末までに結論が出なかった。

校舎等維持補修に要する経費は、4小学校で、ブロック塀等の危険個所が見つかったため、撤去新設工事を行うもの。

教育研究を充実

一般会計補正予算の教育研究に要する経費は、県事業の一つながら食育推進事業及び道徳教育推進事業を受託するため関連経費を計上するもの。

本年度は県の費用だが、来年度以降はどうなるのか。

筑後中学校を食育推進のモデル校、水洗小学校と羽犬塚中学校を道徳教育の研究推進校とし、1年間だけの事業となる。研究成果は、他校と共有する。

控え壁はあるが、老朽化が激しいため撤去し、外から中が見えないようフェンスを設置する。また、県道拡幅工事の移転補償対象となるよう県にお願いしている。



負傷者を搬送する救急隊員(防災訓練の様子)



管理不全の空き地は、住環境に悪影響を及ぼす(イメージ)



がなかった。今回の工事で10年~15年程度持つことを見込んでいる。市庁舎の新築等も含め、検討していく。

管理不全の空き地は、住環境に悪影響を及ぼす(イメージ)